



カケハシ・プロジェクト（米国）ユダヤ系米国人招へい第2陣 （American Jewish Committee）の記録

1. プログラム概要

【目的】本プログラムでは、米国ユダヤ人委員会（AJC）が選出した参加者が来日し、ユダヤ人と日本の歴史を辿る体験を通して、日本と在米ユダヤ人コミュニティとの活発な交流や協力関係を促進し、ひいては日米関係を強化するとともに参加者同士のネットワーク強化を図ることを主目的として実施しました。

【参加者】AJC 選出の社会人 15 名、AJC 関係者 2 名 計 17 名

【訪問地】東京都、京都府、福井県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

10月26日（木曜日）【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

12月7日（木曜日） ホテル集合
12月8日（金曜日） 【表敬訪問】イスラエル大使館 ギラッド・コーヘン大使
【視察】皇居、明治神宮
【交流】日本ユダヤ教団
12月9日（土曜日） 【視察】聖徳記念絵画館
東京都から京都府へ移動
12月10日（日曜日） 【視察】金閣寺
【文化体験】宇治市営茶室 対鳳庵（呈茶体験）
【視察】世界遺産 平等院（庭園及びミュージアム）
12月11日（月曜日） 京都府から福井県へ移動
【視察】人道の港 敦賀ムゼウム
【表敬訪問】敦賀市役所 敦賀市長 米澤 光治氏
【視察】敦賀赤レンガ倉庫見学
【視察・体験】おぼろ昆布手すき職人技術見学
【視察】TSURUGA POLT SQUARE 「otta」見学
福井県から京都府へ移動

12月12日(火曜日) 【ワークショップ】 報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

【視察】 錦市場

【学校交流】 同志社大学

京都府から東京都へ移動

12月13日(水曜日) 【表敬訪問】 駐日米国大使館 ラーム・エマニュエル大使

【報告会】 訪日成果・帰国後の活動計画発表

【表敬訪問】 外務省 北米局長 有馬 裕 氏

12月14日(木曜日) ホテル解散

2. 記録写真

招へいプログラム



12月8日【表敬訪問】 イスラエル大使館 ギラッド・コーヘン大使

12月8日【交流】 日本ユダヤ教団



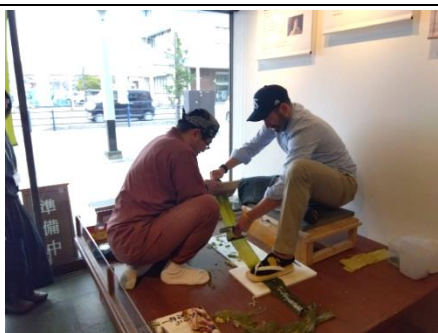
12月8日【視察】 明治神宮

12月9日【視察】 聖徳記念絵画館



12月10日【視察】 金閣寺

12月10日【視察】 平等院



12月11日【視察・体験】昆布鋤体験



12月11日【表敬訪問】敦賀市役所 敦賀市長 米澤 光治氏



12月12日【視察】錦市場



12月12日【学校交流】同志社大学



12月13日【表敬訪問】駐日米国大使館 ラーム・エマニュエル大使



12月13日【報告会】



12月13日【報告会】記念撮影



12月13日【表敬訪問】外務省 北米局長 有馬裕氏

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

今回のプログラムには印象的な経験が多くありました。日本の外務省、イスラエル大使館、米国大使館を訪問し、国際関係や外交について深い洞察を得ることができました。さらに日本の伝統的な茶道体験は、日本伝統文化の優雅さを知る豊かな経験になりました。敦賀の人道の港ムゼウムは、人類の歴史と文化を深く掘り下げた魅力的な展示でした。カケハシ・プログラムへの参加は私にとって非常に思い出深く貴重なものになりました。

◆ 社会人

大使、日本の外務省や地方自治体への正式訪問は、専門的な見地からテーマとの関連性が高く、学ぶ情報も多いプログラムでした。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 表敬訪問先

ポーランド孤児及びユダヤ難民上陸に関する展示や、地元高校生が企画した展示を熱心に視察され、市長表敬でも積極的な意見交換がされるなど、非常に良い反応を得ることができました。また、おぼろ昆布すき見学においても日本文化への高い関心を感じました。

◆ 交流校教員

カケハシ・プログラムで以前アメリカ・ユダヤ人のコミュニティを訪問した時のことをお話しして、その時の経験などをお伝えすることで、アメリカからの参加者との距離が縮まったように思います。

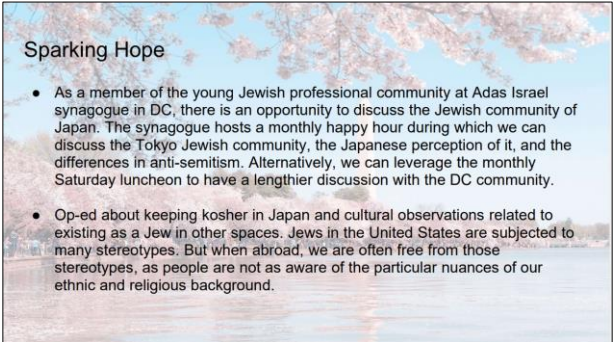
5. 参加者の対外発信（抜粋）

2023 年 12 月 9 日（Instagram） 今日、私たちはギラット・コーヘン駐日イスラエル大使にお会いする機会を得ました。私たちはイスラエルと日本の関係や、イスラエルの視点を日本の主要なステークホルダーに伝えるた	2023 年 12 月 20 日（Instagram） 二度目の訪日も、AJC ACCESS と日本のカケハシ・プロジェクトのプログラムの一環で、若いユダヤ人リーダーのグループを率いるという機会に恵まれました。私たちはイスラエル、アメ

めに彼のチームが行っている仕事について話し合いました。私は10月7日以降日本におけるユダヤ系コミュニティの安全性について尋ねましたが、彼は、アメリカで起きているようなレベルの差別や困難は日本では経験していないと仰っていました。	リカ、日本の政府代表者と会談し、世界情勢への理解を深め、両国とユダヤ人の関係を強化しました。 今年の旅は、世界のユダヤ人コミュニティにとって信じられないほど困難な時期であり、世界中で民主主義と権威主義の間の緊張が高まっていました。 また、ハヌーカ^(注1)の期間でもありました。プログラム中、私たちは暗闇の中で光となるとはということか、暗い時代に希望を持つとはということかを絶えず話し合いました。 このような思慮深く、民主主義、自由、そしてユダヤ人の幸福のために戦い続けるであろう、献身的で楽しい若いリーダーたちと一緒に仕事できたことに、私は深く感謝しています。第二次世界大戦後、日本はこれほどまでに進歩しました。どんなに状況が悪くても、戦争と荒廃から喜びと繁栄へと移行する可能性があることを、日本は私たちに思い出させてくれました。 (注1) ハヌーカ：ユダヤ教の冬季お祭り
--	--

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、京都府、福井県（全4グループ発表一例）

	
【アクション・プラン】 - 異なる価値観を共有する - おもてなしに重点 - 学習と教育に焦点 - 豊かな文化的伝統 - 技術革新 - 戦略	【アクション・プラン】 敦賀市の教訓とボルチモアの寿司作り ボルチモアのモイシェ・ハウスの住人として、自宅で若い世代のユダヤ人を対象にしたイベントを開催します。寿司を作りながら日本の敦賀でのユダヤ難民の歴史について学びます。 イベント内容をボルチモア・ジューイッシュ・

(1) SNS・ブログ ソーシャルメディアキャンペーンやブログ投稿を活用し、プログラムへの参加、日本・ユダヤ間のつながりや文化交流を促進します。 (2) 紹介イベント 茶道や鍋など、カケハシで体験した日本の基本的な文化習慣を地元のユダヤ人コミュニティに紹介します。 (3) 地域社会との対話 私たちの都市における地元のユダヤ人と日系アメリカ人の組織間の関係を築き、理解を深め、共感を促し育みます。 3. ソーシャルメディアキャンペーン (1) ブログ投稿 私たちのユニークな経験、文化的洞察、訪れた場所の重要性を共有します。日本の重要な文化的・歴史的な場所とそのユダヤの歴史への関連性に焦点を当てた投稿をします。 (2) 日本文化教育 観光促進を目指したコンテンツを作成します。 (3) 文化交流と長期的な関係 滞在中またはその後に経験した文化交流や学びについての特別なひとときを紹介します。 4. 地域社会との対話 (1) 目的 日米のユダヤ人コミュニティ間の対話を促進することで、共通の歴史的経験や現代の課題に取り組む上での相互尊重と連帯感を促進します。 (2) 実施内容 例えば、AJC を通じて、在日総領事と在イスラエル総領事に進行いただき、地域のユダヤ人と日米協会の若手専門家同士の対談を実施します。それぞれの地域社会が直面する重要な問題について話し合い、同盟関係についての認識を共有します。 (3) 目標 困難を乗り越えた物語を互いに分かち合い、不公平や不正義に対する歴史的な闘争を理解する	タイムズに投稿し、地元のジャーナリズムで取り上げてもらいます。 2. カケハシ・シャバット Sixth & I Synagogue^(注1) のシャバット・サービス^(注2) に地元のコミュニティ関係者を招待します。そこで、カケハシ・プログラムでの学びや経験、AJC について紹介します。日本の親善大使として活動することでワシントン DC のユダヤ人と日本人コミュニティをつなげ、未来の AJC のカケハシメンバーの募集につながればと思います。 (注1) Sixth & I : ワシントン DC にあるシナゴーク（ユダヤ教の会堂）の名称 (注2) シャバット・サービス：ユダヤ教の安息日であるシャバット（金曜日の日没から土曜日の日没まで）に行われる礼拝 3. ワシントン DC のアダス・イスラエル・シナゴークの若手ユダヤ人プロフェッショナルコミュニティの一員として、日本のユダヤ人コミュニティについて議論する機会があります。シナゴークでは毎月ハッピーアワーを開催しており、その際に東京のユダヤ人コミュニティ、それに対する日本人の認識、反ユダヤ主義の違いなどについて議論します。また、毎月土曜日の昼食会を利用して、ワシントン DC コミュニティと深く議論を交わすことも検討しています。 4. その他活動について (1) AJC と共に活動 ・フィラデルフィア、南ニュージャージー地域の理事会に報告します。 ・理事会のメンバーやエグゼクティブチームとプロジェクトの可能性について相談します。 ・旅行のハイライトについて、プレスリリースやメールを地域のメーリングリストに発行することを推し進めます。 (2) 独自活動 ・情報専門家協会（IPA）でプレゼンテーションを行います。 ・日本の防衛省の偽情報対策に関する今後の取
--	--

共通の土台を見つけることで、連帯感を育みます。	り組みに、ユダヤ人と日本人の価値観を共有することを取り入れ、強調します。
-------------------------	--------------------------------------

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）